



野村 夢永ちゃん

柏ヶ谷、野村勇
希・美紀さんの長
女＝1 歳



遠藤 あやちゃん

河原口、遠藤志
悦・陽子さんの長
女＝1 歳



小川 耀太ちゃん

大谷、小川貴司・
千昭さんの長男＝
1 歳



吉川 涼ちゃん

さつき町、吉川
裕詞・妙子さんの
長男＝1 歳



和田 夏凜ちゃん

上今泉、和田裕
二・友紀さんの長
女＝1 歳



本多 司ちゃん

河原口、本多圭
一・純子さんの長
男＝1 歳



鹿島 達也ちゃん

国分北、鹿島博
文・孝子さんの長
男＝1 歳

まんまる赤ちゃん

旬の味覚をもぎとった!

7 月上旬に本郷・大谷・杉久保の畑で行われた、青
空市出店者会主催のトウモロコシのもぎとり。訪れた
親子連れなど約 300 人が収穫を楽しみました。



フットピックス

練習成果お聴きください

高齢者趣味の教室の童謡・ハーモニカ教室が、最
終日の 7 月 7 日に文化会館でミニコンサートを開催。
歌声と音色を披露しました(ハーモニカ教室から)。



このコーナーに掲載を希望する方は...

電話で広報広聴課(内 271)へ。ただし、申し込み時
点で 1 歳未満の赤ちゃんに限りです。お早めにとど
ろ。なお、申込数が多く掲載できない場合もあります。

みなさんからの作品

海老名の風景 ⑥



(▷場所 中新田から中央方面 ▷撮影日 6 月 20 日)
大谷在住・佐田友子さん撮影

15 の分団が技競う

7 月 16 日、海老名市消防操法大会が市役所西側催
事広場で行われ、市内 15 の各消防分団が参加。第 10
分団が最優秀賞に輝きました。



今月のプロフィール

東海道五十三次を一人で走破
旅の思いを三十一文字に込めた

佐々木義昭さん



「三条の橋のたもとのほほ笑み像、
弥次さん喜多さん我を迎えし」

東海道五十三次。東京日本橋から京都三条大橋まで、
約 520 ㎞の距離です。この道のりをわずか 7 日間、そ
れもたった一人で走りきり、その間に 166 首の短歌を詠ん
だのが国分寺台在住の佐々木義昭さん(60 歳)。
佐々木さんはランニング歴 30 年のベテランで、これま
でに富士五湖一周マラソンをはじめ、海外のマラソン大
会にも出場し、すべて完走した実績を持っています。
「ジャーニラン(走り旅)」に挑戦するきっかけは、競
技とは違った形で自分を見つめる機会を持ちたかったた
め。実現までの準備は、走行経路・宿泊先・気温・降雨
状況などの調査をはじめ、フルマラソンに最適化した身
体をジャーニランに合わせるため、半年間の調整期間
を設けました。これには奥さんの理解と協力が不可欠だっ
たといいます。また、走破したという結果もさることな
がら、特徴的なのはジャーニランの経過を詠んだ短歌
で、走行中にメモを取り、宿泊先でまとめました。

人情にふれて走った 7 日間

「ジョリラン、山川草木みな伴にして、行きかう道
も一期一会、出発前の心境です。これからのジャーニ
ランに期待が何えです。
「ウルトラ」で登山マラソン混ぜたよな、そんな走りの
箱根越え、過酷なマラソンを経験してきた佐々木さん
にとっても苦しい箱根越えだったとのこと。
「小物入れ、無事にかえってほのぼの、余す旅路の
脚(か)や(か)い」お金などが入った小物入れを置き忘れ、
心当たりのお店に連絡をしたところ、見つけて次の宿泊
先に送ってくれたそう。このことは、人情にふれた忘
れられない出来事だったといえます。また、初対面のラ
ンナーとの併走や、家族連れから「がんばって」と声を
かけられたことも、完走への原動力になったそうです。
「完走後、鴨川を見ながらコーヒを飲んでいると、
次はどこを走ろうかなと考えてちゃっているんですよ、
と笑って話す佐々木さんの少年のような目には次のジャー
ニランで出会う人々が映っているようでした。」

「光触媒」の発見は今か
ら 25 年以上もさかのぼりま
す。当初は光のエネルギー
が化石燃料に取って代わる
のでは...といわれたそうで

編集後記

すが、エネルギー効率が低
く断念。しかし現在、方
向性を変えて、環境にやさ
しい技術として生き続けて
いるんですね。(大)